

# SYLLABUS(後期)

授業科目	ビジネスマナーⅡ		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	仕事に対する姿勢やビジネス文書の基本事項、統計・データの読み方まとめ方等を学び、社会人として必要な知識を身に付ける。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目	授 業 内 容						
1	社会常識を高める情報収集、分析①	新聞に必ず目を通し、効果的な運用を紙面構成を知って効率のよい読み方を						
2	社会常識を高める情報収集、分析②	マス・メディアを利用した情報の収集 インターネットの利用						
3	社会常識を高める情報収集、分析③	新聞記事の読み方						
4	表とグラフ①	数値の把握の大切さ 表とグラフの役割と重要性 表の特徴と形式 表を読むための基礎知識						
5	表とグラフ②	表と計数処理 用語に関する基礎知識 グラフを読むための基礎知識						
6	業種・業界の知識①	日本経済の基本構造 日本経済の発展過程						
7	業種・業界の知識②	さまざまな業種と最近の動き						
8	業種・業界の知識③	産業構造の変化と新しい産業 社会生活と価値観の変化						
9	会社の仕組みと売上・利益①	会社の3つの大きな特徴 売上と利益						
10	会社の仕組みと売上・利益②	新しい社会制度 会社の社会的な意義						
11	会社の仕組みと売上・利益③	組織を効率よく動かすための分業システム 組織はライン部門とスタッフ部門にわかれる						
12	会社の仕組みと売上・利益④	組織内における自分の役割を認識する 組織の一員として自覚しておきたいこと						
13	社会保険と税金①	社会保険は社会保障制度の根幹 健康保険・雇用保険・労災保険						
14	社会保険と税金②	国民年金と厚生年金 国税と地方税						
15	社会保険と税金③	所得税と住民税 将来の生活設計を考えたうえでの保険選び						
1回配当時間	2時間	1コマ						
使用教科書								

# SYLLABUS(後期)

授業科目	人工知能概論		年次	2年	前後期	後期	単位	2
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	経験や自らの考えを積み上げる思考能力を持った人工知能についての概要を学びます。							
成績評価の方法・基準	<p>成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。</p> <p>科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。</p>							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	人工知能を作り出そう		人工知能とは何か？また、その歴史について					
2	探索（1）		状態空間について学ぶ					
3	探索（1）		基本的な探索方法を学ぶ					
4	探索（2）		最適探索と最良優先探索について学ぶ					
5	探索（2）		A*アルゴリズムについて学ぶ					
6	探索（3）		標準型ゲームについて学ぶ					
7	探索（3）		展開型ゲームについて学ぶ					
8	計画と決定（1）		多段決定問題について学ぶ					
9	計画と決定（1）		動的計画法について学ぶ					
10	確率モデル（1）		確率について学ぶ					
11	確率モデル（1）		ベイズの定理について学ぶ					
12	確率モデル（1）		確率的生成モデルについて学ぶ					
13	確率モデル（2）		ナイーブベイズについて学ぶ					
14	確率モデル（2）		強化学習について学ぶ					
15	まとめ		これまで話してきた機械学習について改めて復習をする					
1回配当時間	2時間	1コマ						
使用教科書	イラストで学ぶ人工知能概論 改訂第2版							

# SYLLABUS(後期)

授業科目	知的財産概論		年次	2年	前後期	後期	単位	2
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	ソフトウェアや商標など人間の知的創造力によって作られた無形の財産についての権利について学びます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目	授 業 内 容						
1	知的財産とは ①	知的財産に関する法律とその体系について学ぶ。 知的財産権の全体像の理解をすすめる。						
2	知的財産とは ②	知的財産権の概要についての学習。						
3	著作権法 ①	著作権の概要について。著作人格権の表すもの。						
4	著作権法 ②	著作財産権：著作権の発生と様々な権利。						
5	著作権法 ③	著作財産権：著作財産権の存続期間と制限について。						
6	著作権法 ④	著作隣接権とは何か。						
7	著作権法 ⑤	著作権侵害と、対抗措置のさまざまな事例。						
8	意匠法	意匠法の目的と管理・活用の仕方。						
9	商標法	商標登録と商標権の管理・活用について。						
10	演習問題	上記各法に関する復習と演習。						
11	特許法 ①	特許法の概要、発明の定義と特許出願の流れ。						
12	特許法 ②	特許権の発生と特許権侵害に対する措置について。						
13	実用新案法	実用新案法の目的とその内容、特許との違い。						
14	種苗法	種苗法の目的と重要性。						
15	不正競争防止法・独占禁止法	不正競争防止法の目的・独占禁止法の目的、不当な取引制限と不公正な取引方法について。						
1回配当時間	2時間	1コマ						
使用教科書	知的財産管理技能検定 2級と3級を一気に学ぶ本							

# SYLLABUS(後期)

授業科目	システム管理		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	PCネットワークの障害管理、性能管理、セキュリティ管理や情報システムの改善、新規システムの受入れ、利用者への技術支援に関する知識を学びます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目	授 業 内 容						
1	前期のおさらい	要件定義書の書き方について再復習する						
2	運用設計書とは	運用設計書とはなにかを学ぶ						
3	運用設計書の書き方	運用設計書の書き方を学ぶ						
4	運用フロー図とは	運用フロー図の書き方を学ぶ						
5	詳細設計とは	詳細設計時に運用としては何をしなくてはならないかを学ぶ						
6	WBSとは	WBSの書き方について学ぶ						
7	運用手順書・台帳・一覧とは	運用手順書・台帳・一覧の作り方について						
8	申請書とはどう作成すべきか	申請書の作り方について学ぶ						
9	運用テストとは	保守管理における運用テストについて学ぶ						
10	運用テスト計画書とは	運用テスト計画書の作り方について学ぶ						
11	運用テスト仕様書とは	運用テスト仕様書の作り方について学ぶ						
12	運用テストの実施方法	運用テストの実施方法について学ぶ						
13	業務運用のケーススタディ	業務運用を実際に行う際に発生する運用項目の実際の運用方法について学ぶ						
14	基盤運用のケーススタディ	基盤運用を実際に行う際に発生する運用項目の実際の運用方法について学ぶ						
15	管理運用のケーススタディ	管理運用を実際に行う際に発生する運用項目の実際の運用方法について学ぶ						
1回配当時間	2時間	1コマ						
使用教科書	運用設計の教科書 現場で困らないITサービスマネージメントの実践ノウハウ							

# SYLLABUS(後期)

授業科目	検定対策講座		年次	2年	前後期	後期	単位	4
授業の種類	講義	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	システムエンジニア、プログラマーとしての実務経験を有す。							
教育目標	基本情報技術者試験の過去問題を頻度の多い範囲中心に復習する。また、J検情報活用1級・2級をも視野に入れ過去問題にて復習する。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目	授 業 内 容						
1	計算問題	基数変換、シフト演算の過去問題より復習する						
2	計算問題	論理演算、論理式と集合演算の過去問題より復習する						
3	計算問題	ハッシュ値、CPU性能（MIPS値と平均命令実行時間）の過去問題より復習する						
4	計算問題	CPU性能（MIPS値と平均命令実行時間）の過去問題より復習する						
5	J 検情報活用	情報表現の過去問題より復習する						
6	J 検情報活用	経営戦略とシステム戦略（企業活動・企業法務）の過去問題より復習する						
7	J 検情報活用	プロジェクトマネジメント （システム開発マネジメント・プロジェクトマネジメント）の過去問題より復習する						
8	J 検情報活用	プロジェクトマネジメント（サービスマネジメント）の過去問題より復習する						
9	J 検情報活用	情報と情報の利用 （情報表現とデータ構造・問題解決処理手順・情報と情報の利用）の過去問題より復習する						
10	J 検情報活用	パソコンを利用したシステム （コンピュータの種類、および動作原理・オペレーティングシステム・パソコン関連機器とインタフェース）の過去問題より復習する						
11	J 検情報活用	ネットワークの利用 （インターネットの基礎・ネットワークの利用）の過去問題より復習する						
12	J 検情報活用	アプリケーションソフトの利用と活用 （アプリケーションソフトの基礎知識・表計算ソフト・表計算を利用した問題解決）の過去問題より復習する						
13	J 検情報活用	情報ネットワーク社会への対応 （社会におけるコンピュータの利用・情報社会の問題点）の過去問題より復習する						
14	J 検情報活用	情報モラル、情報セキュリティ （情報モラルとネットワークセキュリティ・コンピュータセキュリティ）の過去問題より復習する						
15	J 検情報活用	総復習						
1 回配当時間	2 時間	1 コマ						
使用教科書	基本情報技術者標準教科書、基本情報技術者 午後問題集							

# SYLLABUS(後期)

授業科目	IoT組み込み系プログラミング		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	IoTで必要不可欠な知識として洗濯機、エアコン等の家電製品をはじめコンピュータを内蔵し特定の機能をはたす産業機器のプログラミングを学びます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目	授 業 内 容						
1	PWM制御の基本について	LEDの高周波数での点滅状況を確認する						
2	PWM制御の基本について	Duty比を自分で変えてみてLEDの点滅状況を確認する						
3	PWM制御の基本について	1回目、2回目の結果を文章にまとめてみる						
4	PWM制御の応用について	PWM制御の説明						
5	PWM制御の応用について	実際にPWM制御プログラムを作成する						
6	PWM制御の応用について	5回目で作成したプログラムの実行結果についてまとめる						
7	ラズベリーパイとセンサの通信	ラズベリーパイとセンサとのシリアル通信で接続する方法を学ぶ						
8	Arduinoのセンサー値をラズベリーパイで読み込む	7回目の話を応用して、Arduinoのセンサー値をラズベリーパイでどのように取り込むかを学ぶ						
9	ラズベリーパイのインターネット接続	ラズベリーパイをどのようにインターネットへつなぐべきなのかを学ぶ						
10	ラズベリーパイにあるセンサーの値を外部から読み取る	IoTに必要なセンサーで取った値を外部へ公開するためにftpサーバを立ち上げて外部から入手する						
11	ラズベリーパイにあるセンサーの値を外部から読み取る	IoTに必要なセンサーで取った値を外部へ公開するためにwebサーバを立ち上げて公開する						
12	ラズベリーパイへ外部から情報を与える	webサイトからラズベリーパイを制御するためのしくみについて学ぶ						
13	ラズベリーパイへ外部から情報を与える	webサイトからラズベリーパイを制御するための環境を構築する						
14	Google Spreadシートとラズベリーパイの連携	IoTに必要なセンサーで取った値を外部へ送信するすべを学ぶ						
15	まとめ	IoTについて改めてこれまでやったことを総括する						
1回配当時間	4時間	2コマ						
使用教科書	Raspberry PiによるIoTシステム開発実習センサネットワーク構築からwebサービス実装まで							

# SYLLABUS(後期)

授業科目	スマホアプリ開発Ⅱ		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	スマートフォンに欠かせないアプリケーションの開発技術の基礎を学びます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、課題の提出及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目	授 業 内 容						
1	Android Developer公式チュートリアルの実施	公式チュートリアルを用いてAndroid アプリ開発の基礎を学習します。						
2	Android Developer公式チュートリアルの実施	公式チュートリアルを用いてAndroid アプリ開発の基礎を学習します。						
3	Android Developer公式チュートリアルの実施	公式チュートリアルを用いてAndroid アプリ開発の基礎を学習します。						
4	Android Developer公式チュートリアルの実施	公式チュートリアルを用いてAndroid アプリ開発の基礎を学習します。						
5	アイデア開発技法の学習	サービスデザインの手法を学びます。アイデア開発やユーザー観察の基礎的手法を学びます。						
6	課題アイデア開発	アイデア開発技法を用いて、小さなアプリ開発の企画を作ります。						
7	課題開発	開発したアイデアを基に、小さなアプリを開発します。						
8	課題開発	開発したアイデアを基に、小さなアプリを開発します。						
9	Android Developer公式チュートリアルの実施	公式チュートリアルを用いてAndroid アプリ開発の応用を学習します。						
10	Android Developer公式チュートリアルの実施	公式チュートリアルを用いてAndroid アプリ開発の応用を学習します。						
11	設計技法の学習	UMLなどを用いた、ソフトウェアの設計技法を学習します。						
12	設計技法の学習	UMLなどを用いた、ソフトウェアの設計技法を学習します。						
13	設計演習	UMLを用いて、課題を設計します。						
14	課題開発	設計したアプリケーションを開発します。						
15	課題開発	設計したアプリケーションを開発します。						
1回配当時間	4時間	2コマ						
使用教科書	はじめてのAndroidプログラミング 第5版							

# SYLLABUS(後期)

授業科目	サーバ構築		年次	2年	前後期	通年	単位	4
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	スマホアプリ開発やWebメディア企画開発、IoT開発業務を中心にデザインエンジニア/プログラマーとして会社を運営しており、情報処理全般の実務経験を有す。							
教育目標	インターネットを使ってHPを見たり、ネットゲームを行ったりする場合に必要なサーバを構築する技術を学びます。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科日期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	前期のおさらい		Linuxのコマンドの使い方の復習とサービスの概念についての再学修					
2	DHCPサーバを構築する		DHCPサーバとは何かをまなび、まずはDHCPサーバを立ちあげる					
3	DHCPサーバを構築する		MACアドレスの指定したIPアドレスの払い出し手法について学ぶ					
4	DNSサーバを構築する		DNSサーバとはなにかを学ぶ					
5	DNSサーバを構築する		ローカルの名前解決の手法について学ぶ					
6	DNSサーバを構築する		上位のDDNSサーバとの連携について学ぶ					
7	DNSサーバを構築する		セカンダリDNSサーバの構築とデュプリケーションについて学ぶ					
8	DNSサーバを構築する		MXについて学ぶ					
9	メールサーバを構築する		ローカル配信について学ぶ					
10	メールサーバを構築する		上位SMTPサーバに静的に配信する方法について学ぶ					
11	メールサーバを構築する		MX配信について学ぶ					
12	メールサーバを構築する		POP3について学ぶ					
13	メールサーバを構築する		IMAP4について学ぶ					
14	SAMBAサーバを構築する		windowsのファイル共有についてまなぶ					
15	SAMBAサーバを構築する		プリンターサーバについて学ぶ					
1回配当時間		4時間	2コマ					
使用教科書		CentOS 8で作るネットワークサーバ構築ガイド						



# SYLLABUS(後期)

授業科目	WebプログラミングⅡ		年次	2年	前後期	通年	単位	2
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容								
教育目標	プログラミング言語「javascript」「PHP」等を用いて、WEBサービスを開発する方法を学びます。また基礎的な設計方法をもちいて、0からのサービス開発を実習します。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目	授 業 内 容						
1	セレクター構文（1）	1. 登場順序により取得する要素を絞り込む 2. 子要素、テキストにより要素を絞り込む						
2	セレクター構文（2）	1. 子要素を取得するためのフィルター 2. 属性の値により対象を絞り込む						
3	セレクター構文（3）	1. その他のフィルター 2. セレクター選択のコツ						
4	ページレイアウトの操作（1）	1. ページのスタイルを変更する 2. CSSのプロパティを設定する						
5	ページレイアウトの操作（2）	1. CSSのプロパティの値を取得する 2. スタイルクラスを適用する						
6	ページレイアウトの操作（3）	1. スタイルクラスを除外する 2. スタイルクラスを交互に適用/除外する						
7	ページレイアウトの操作（4）	1. HTMLの属性を変更/取得する 2. 属性の値を設定する						
8	ページレイアウトの操作（5）	1. 属性値を取得する 2. 属性を削除する						
9	ページレイアウトの操作（6）	1. 高さ、幅を取得/設定する 2. スクロール位置を取得/設定する						
10	ページレイアウトの操作（7）	1. テキストやHTMLを設定/取得する 2. 要素に対してテキストを設定する						
11	コンテンツの操作を究める（1）	1. ページに新しいコンテンツを挿入する 2. 要素の挿入や置き換え、削除を究める						
12	コンテンツの操作を究める（2）	1. 親子、兄弟要素の間を行き来する 2. 現在の要素を基点として要素を取得する						
13	イベントとイベントリスナーの理解（1）	1. イベント処理の基本 2. マウス操作関連のイベント						
14	イベントとイベントリスナーの理解（2）	1. テキストボックスに透かし文字を追加する 2. 画像が読み込めない場合のエラー処理を実装する						
15	期末テスト	セレクター構文、ページレイアウトの操作、コンテンツの操作を究める、イベントとイベントリスナーの理解						
1回配当時間	2時間	1コマ						
使用教科書	10日でおぼえるjQuery入門教室 第2版							

# SYLLABUS(後期)

授業科目	オブジェクト指向プログラミングⅡ	年次	2年	前後期	通年	単位	2
授業の種類	実習	科目区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			
実務経験内容							
教育目標	同じ「モノ」の仲間を一つのグループとして考え、そのグループごとでプログラムを組むことで効率的に作業ができる技術を学びます。						
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。						
回数	題 目	授 業 内 容					
1	新しいクラス（1）	1. 継承 2. メンバへのアクセス					
2	新しいクラス（2）	1. オーバーライド 2. Objectクラスの継承					
3	インターフェイス（1）	1. 抽象クラス 2. インターフェイス					
4	インターフェイス（2）	1. 多重継承 2. クラスの階層					
5	大規模なプログラムの開発（1）	1. ファイルの分割 2. パッケージの基本					
6	大規模なプログラムの開発（2）	1. パッケージの利用 2. インポート					
7	例外と入出力処理（1）	1. 例外の基本 2. 例外とクラス					
8	例外と入出力処理（2）	1. 例外の送付 2. 入出力の基本					
9	スレッド（1）	1. スレッドの基本 2. スレッドの操作					
10	スレッド（2）	1. スレッドの作成方法 2. 同期					
11	グラフィカルなアプリケーション（1）	1. GUIアプリケーション 2. コンポーネント					
12	グラフィカルなアプリケーション（2）	1. イベント 2. 画像の表示					
13	グラフィカルなアプリケーション（3）	1. アニメーション 2. マウスで描画					
14	グラフィカルなアプリケーション（4）	1. スマートフォンアプリの開発 2. Webアプリケーションの開発					
15	期末テスト	新しいクラス、インターフェイス、大規模なプログラムの開発、例外と入出力処理、スレッド、グラフィカルなアプリケーション					
1回配当時間	2時間	1コマ					
使用教科書	やさしいJava 第7版						

# SYLLABUS(後期)

授業科目	オフィスアプリケーション実習Ⅱ	年次	2年	前後期	通年	単位	2
授業の種類	実習	科目区分	必修	実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	システムエンジニア、プログラマーとしての実務経験を有す。						
教育目標	Excel VBAの使い方を習得するとともに、簡単な一連のExcelプログラムの作成をする。 また、検定に対する練習も行う。						
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。						
回数	題 目	授 業 内 容					
1	ExcelVBA	マクロの記録方法と簡単な記録マクロの作成 記録マクロのボタン登録					
2	ExcelVBA	VBEの基礎知識とエラー対処およびイミディエイトウィンドウの使用 VBAの基本構文を理解する（基本用語と基本構文）					
3	ExcelVBA	VBAの基本構文を理解する（オブジェクトと複数オブジェクト操作） ブックとシート操作（ブックを開くと閉じる）					
4	ExcelVBA	ブックとシート操作（ワークシートの切り替え） ブックとシート操作（ワークシートの表示・非表示）					
5	ExcelVBA	ブックとシート操作（注意点） セル操作（Rangeオブジェクトとセルの選択）					
6	ExcelVBA	セル操作（行・列の表示非表示、値の取得と設定、選択セルの範囲変更）					
7	検定対策	各個人の受験対象の級の問題を練習					
8	検定対策	各個人の受験対象の級の問題を練習					
9	検定対策	各個人の受験対象の級の問題を練習					
10	ExcelVBA	変数（変数の宣言とデータの型） 計算チェックマクロの作成					
11	ExcelVBA	分岐処理（IFステートメント） 分岐処理（Select Caseステートメント）					
12	ExcelVBA	ループ（For Nextステートメント） ループ（For Each Nextステートメント）					
13	ExcelVBA	ループ（Do Loopステートメント） メッセージボックスの利用したプログラムの作成					
14	ExcelVBA	文字列操作プログラムの作成 日付や時刻を操作するプログラムの作成					
15	ExcelVBA	総合復習1 総合復習2					
1回配当時間	2時間	1コマ					
使用教科書	実践ドリルで学ぶoffice活用術、日本語ワープロ検定 模擬試験問題集、 情報処理技能検定（表計算） 模擬試験問題集						

# SYLLABUS(後期)

授業科目	卒業制作		年次	2年	前後期	通年	単位	7
授業の種類	実習	科目区分	必修		実務経験のある教員による授業科目			○
実務経験内容	スマホアプリ開発やWebメディア企画開発、IoT開発業務を中心にデザインエンジニア/プログラマーとして会社を運営しており、情報処理全般の実務経験を有す。							
教育目標	本コースで学んだすべての知識や技術を用いて、社会的な課題や個人のニーズを満たすソフトウェアやウェブサービス、プロダクトなどを制作できるようにすること。							
成績評価の方法・基準	成績は100点満点とし、60点以上をもって合格点とする。科目期末試験、平常試験の成績及び出席状況を厳正に審査して、成績を評価し、その評価に基づき単位を付与する。 科目成績評価は絶対評価の4段階であり、優（A：100点～80点）、良（B：79点～70点）、可（69点～60点）、不可（D：60点未満）とする。							
回数	題 目		授 業 内 容					
1	後期開始報告		前期作業の総括と夏休み中の進捗報告を行う					
2	卒業制作の作業		卒業制作の作業を行い、授業終了時にLMSで作業報告を行う					
3	卒業制作の作業		卒業制作の作業を行い、授業終了時にLMSで作業報告を行う					
4	卒業制作の作業		卒業制作の作業を行い、授業終了時にLMSで作業報告を行う					
5	卒業制作の作業		卒業制作の作業を行い、授業終了時にLMSで作業報告を行う					
6	中間発表		制作の成果を発表し、グループ間で相互レビューする					
7	卒業制作の作業		卒業制作の作業を行い、授業終了時にLMSで作業報告を行う					
8	卒業制作の作業		卒業制作の作業を行い、授業終了時にLMSで作業報告を行う					
9	卒業制作の作業		卒業制作の作業を行い、授業終了時にLMSで作業報告を行う					
10	卒業制作の作業		卒業制作の作業を行い、授業終了時にLMSで作業報告を行う					
11	中間発表		制作の成果を発表し、グループ間で相互レビューする					
12	卒業制作の作業		卒業制作の作業を行い、授業終了時にLMSで作業報告を行う					
13	卒業制作の作業		卒業制作の作業を行い、授業終了時にLMSで作業報告を行う					
14	卒業制作の提出の準備		卒業制作と概要設計の提出準備					
15	卒業制作の提出		卒業制作と概要設計の提出					
1回配当時間	8時間	4コマ						
使用教科書	書籍はなし。オンラインにある実際の開発事例を紹介して進める。							